

第3学年1組 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）

授業者

- 1 **主題名** 相手のことを思い、進んで親切に
- 2 **ねらい** 進んで親切について、多面的な感じ方や考え方を吟味することを通して、積極的に声をかけ親切にすることのよさや、その難しさについて理解し、積極的に親切にしようとする態度を育てる。

教材名 「心と心のあく手」（出典：「わたしたちの道徳 小学校3・4年」文部科学省）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

本内容項目は、相手のことを思いやり、進んで親切にすることの大切さを扱う。親切とは、相手を思いやり、それを行動に表すことである。親切によって恩を売ったり、それに対して報酬を期待したりするようなものは、真の親切とはいえない。思いやりの心を表すには、相手の存在を受け入れ、相手のよさを見出そうとする姿勢が求められる。具体的には、相手の立場を考えたり相手の気持ちを想像したりすることを通して励ましや援助をすることである。

また、単に手を差し伸べるだけでなく、時には相手のことを親身になって考えようとする態度を育てることが大切である。

指導に当たり、相手の置かれている状況、困っていること、大変な思いをしていること、悲しい気持ちでいることなどを自分のこととして想像することで、親切な行為を自ら進んで行うことができるように指導することが大切である。

（2）これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級は4月から「自ら考え判断する」ということを行ってきた。様々な場面で自己決定する場面を設けることで、先を見て考えられるようになってきた。場面絵から問題を想像し、自分だったらこう行動するだろうという考えをもつことができる。困っている友達がいると相手に親切にしたいという気持ちをもっている児童も多い。しかし、よいと思い進んで行動することが、返ってお節介となり、言い争ってしまうこともある。自己主張をするだけで相手の立場や気持ちを考えずに行動してしまう場面も見受けられるという実態である。

（3）教材の特質や活用方法について

本教材は、主人公が困っているおばあさんを見て、勇気を出して声を掛けたが、断られる場面から始まる。主人公の少年はおばあさんの事情を母から聞いた。数日後、またおばあさんに出会う。母の言葉から、おばあさんの姿を見ながら考え、「見守ること」も親切の方法であることに気が付く様子が描かれている。日常生活の中で困っている人を見かけた場合、相手の立場や気持ちを想像し、自分がどのような行動を取ることが親切であるかを考えさせることで、進んで親切にしたと思うようになる内容である。

また、中心場面では、「声を掛けよう」か「掛けるのをやめよう」という場面を取り上げ、多様な道徳的価値観に触れさせる。さらに自己の生き方について考えを深められるように「深化的な問い」を投げかけることで、児童が考えたことのない領域へいざなうことで、道徳性を更新させていきたい。

4 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 場面絵から現在の状況を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・助けてあげよう ・荷物をもってあげよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値について今日の学びの方向付けをする
展開	2 教材を読んで考える。 (1) 荷物を持ってあげようとして声をかけたが断られた時の僕はどんな気持ちでしょうか。 (2) 足取りの重いおばあさんに再会した僕はどんな心でしょうか。 ※それぞれの理由を問う ※2回目だから断られることを予想し、着いていくことならできると判断したのではないか ※着いて行くということは親切となるのか。 (3) 無事に家にたどり着いたおばあさんの笑顔を見たときの僕はどんな気持ちでしょうか。 3 これまでの自己の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかく声をかけたのに ・言わなければよかった ・ひどいな ・声をかけようかな ・また断られるかな ・手伝おうかな ・言っても意味ないかな (声をかけよう) ・大変そうだから ・怪我したら困るから ・無事に家に帰って欲しいから (声をかけない) ・歩く練習をしているから ・邪魔になるから ・前回断られたから ・怪我をしなくてよかった ・ついて行ってよかった ・おばあさんが笑顔でよかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・親切にしたが受け取ってもらえなかった時の気持ちを引き出す。 ・児童の考えを引き出し、その後整理し、二分する。児童の価値に対する考え方を明確にする。 ・多様な考え方をさせ、価値観に触れ合うために、グループで話し合わせる。 ・声をかけるという行為と、着いて行くという行為の相違点について考えさせる。 ☆親切には声をかけるだけではなく、見守ることも親切になるなどの発言が見られたか。 ・相手のことを考えて、自分にできることをした時のよさについて気持ちを高めさせていく。
終末	4 教師の話を書く ノート記入		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の説話から本時のまとめをする。

5 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

・親切にすることの大切さや難しさについて、多様な考え方に触れながら考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

・親切には声をかけるだけではなく、相手を思いやりながら見守ることも親切になると発言している。